



SERVICE Above Self

超我の奉仕

TANABE

District 2640 田辺ロータークラブ



ROTARY

Club Weekly Bulletin

2005-06年度 国際ローターテーマ

カール・ヴィルヘルム ステンハマー R I 会長

四つのテスト (FOUR WAY TEST)

言行はこれに照らしてから

- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
 例会場 紀陽銀行三階ホール
 会長 村上 有司
 幹事 木村 頼文
 会報委員長 植田 英明
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日
 事務所 田辺市栄町24 〒646-0048
 紀陽銀行田辺支店内
 TEL 0739-24-2002
 FAX 0739-26-0264
 mail tanaberc@mb.aikis.or.jp



「 円月島の夕日 」

司会者

村上有司会長

ソング

君が代 笑って笑ってロータリアン

四つのテスト

榎本三郎会員

ゲスト

ヴィジター

本日のプログラム 12/8

雑誌委員会
 廣本喜亮会員
 「 雑誌の日 」

次のプログラム 12/15

田辺税務署
 署長 辻 浩 司 様

出席報告

	会員数	欠席者	出席者	出席率
総 数	85名	12名	73名	
出席計算者	74名	10名	64名	86.48%
11月10日修正出席率				93.24 %

メイクアップ

11月27日 三前剛、森本(地区・世界エイズデー-2005in和歌山)

お祝い

結婚記念日 11/25 瀨口
 11/26 坪井
 12/4 榎本三
 12/4 瀬戸
 12/5 阪本
 皆出席 福本(3年) 榎本長、串上(17年)
 畑地浩(30年) 多屋睦(35年)
 三前洋(41年)

ニコニコ箱

東先生、卓話よろしくお願ひします。世界エイズデー-街頭啓発運動でご協力ありがとうございました。…三前剛 東先生、卓話楽しみにしています。……………伊賀、横田、坪井、木村頼、廣本、玉井洋、小川 久し振りの例会です。卓話ガンバります。……………東 野球部の皆さん、ご苦労様。抽選残念でした。来年の甲子園を楽しみにしています。……………脇村 野球、ジャンケンで負けました。……………三前剛 ローター-野球地区予選、稲田太門さんの好投に報いることが出来なくて申し訳ありません。……………新藤、新井、野村富、森本、長井 ローター-野球、残念でした。……………廣本、植田 芳新宮まで試合応援と懇親会に参加ありがとうございました。……………渡部 本日の忘年会よろしくお願ひします。……………岡本、荷稻 靖国神社へ行き正式参拝してきました。……………田上 ソング、マチガイました。……………稲田静

お知らせ

会長報告

- ・「世界エイズデー」街頭啓発活動ご苦労様でした。
- ・甲子園野球地区予選では野球部の方、応援に行かれた方ご苦労様でした。
- ・田辺RC創立30周年記念事業の紀南文化会館前のモニュメントを製作して頂いた建畠覚造氏が文化功労賞を受賞されました。



街頭啓発活動

幹事報告

- ・1月29日(日)に那智勝浦体育文化会館にて開催されます第2640地区 1組 I・Mの案内をトレ-に入れています。入会5年未満の会員は、第1部の新会員の集いへの出席よろしくお願ひします。
- ・河内長野東RC20周年記録誌、近隣クラブの会報来ています。回覧します。

委員会報告

ローター-財団委員会

白井 浩委員長

- ・本日、100万ドルの食事です。よろしくお願ひします。

親睦活動委員会

荷稻 實副委員長

- ・田辺RC忘年会、今晚夜6時30分からあしべ本店で行います。景品のご協力よろしくお願ひします。

社会奉仕委員会

三前 剛委員長

- ・世界エイズデー、啓発活動にご協力ありがとうございました。

野球部

新井康司会員

- ・11月26日(土)新宮黒潮スタジアムで午後1時より行なわれましたRC甲子園地区予選の新宮クラブとの試合、残念ながら5-5の同点でジャンケン対決の結果惜しくも5-4と負けてしまいました。応援ありがとうございました。



年次総会

開会 村上有司会長
田辺ロータリークラブ定款第5条第2節並びに同細則第4条第1節により本日年次総会を開催致します。
定足数の確認 木村頼文幹事
会員総数85名 出席会員73名
クラブ細則第4条第3節により会員の3分の1である29名を越える出席がありますので本総会は成立致します。

議題

1. 「次年度役員並びに理事選任承認の件」

クラブ細則第1条第1節の規定に従い10月27日の例会に於いて指名委員会より指名された役員及び理事候補者の氏名を公表致しましたが、他の会員より候補者の推薦がありませんでした。よって本日投票されることなく次の方々が当選したことを宣言し、ここで改めて発表致します。

次々年度会長 荷稻 實君 次年度理事 笹野吉信君
次年度副会長 植田芳史君 次年度理事 新藤整市君
次年度幹事 三前 剛君 次年度理事 稲田太門君
次年度会計 津村寛司君 次年度理事 横田達夫君

2. 「田辺ロータリー・クラブ細則改正の件」

田辺ロータリー・クラブ細則第1条第2節中「直前会長」を削除する。これに合わせ、同第2条中11名とあるのを10名と訂正し、「および直前会長」を削除する。

第2号議案については、一層検討する必要があるのではないかと意見があり、時間の都合で本日は決をとらない事とする。

坪井敏行 次年度会長挨拶



次年度理事役員の方々と共に会員の皆様のご支援を賜り、幹事にも頑張っていたら1年頑張っていきたいと思いたすのでよろしくお願い致します。

三前 剛 次年度幹事挨拶



坪井敏行会長予定者の邪魔にならないように、がんばりたいと思います。皆さんよろしくお願ひします。

プログラム



社会奉仕委員会
世界エイズデー
「青少年のエイズ問題」

東 冬彦 会員

1. 世界の情勢

WHOの報告によると世界の2004年末のエイズ感染者は4,030万人で前年より280万人増加した。これは7%の増加率である。2004年の新規患者は490万人、死亡者は280万人である。患者の90%は途上国で、特にアフリカのサハラ砂漠以南の国々に世界の3分の2のエイズ患者が集中している。国民の40%がエイズに罹患している国もあり、エイズで国が亡びるのではないかとされている。

エイズの感染はsex、麻薬、母子感染が主なものであるが、アフリカ諸国では母子感染が多く、15歳以下の子供50万人が毎年エイズで死んでいる。1分に一人の子供がエイズで死んでいることになる。また、両親がエイズで死亡したエイズ孤児は1,800万人に達した。

2. 日本の統計

先進国では、エイズ治療薬の進歩により、今やエイズは必ずしも『死ぬ病気』ではなくなってきており、患者発生数・死亡者数ともに減少して来ているが、わが国は先進国の中でエイズ患者が増加し続けている唯一の国である。日本では2004年にはHIV感染者（エイズウイルス保有者、無症状）とエイズ患者の合計が1万人を越し、一年間の発生者数も1,000人を突破した。感染経路を見ると78%は国内での感染であり、国内に定着してきていることがわかる。地域的には東京、名古屋、大阪などの大都会に集中している。感染経路の内訳を見ると、HIV感染者では同性間sex55.6%、異性間sex27.8%であり、エイズ患者では同性間sex28.6%、異性間sex39%である。これはセックス産業などのいわゆるハイリスクグループでは検査を受ける機会が多いため、まだ症状の出ないHIV感染の段階で、発見され、早期に治療が始まるが、リスクの少ない一般国民では検査が不十分であり、発病して初めてエイズと分かる人たちが多くを示している。

3. 若年患者の増加

近年、性的活動期の低年齢化に伴い、高校生の男子の3割、女子の4割が性交渉の経験がある。ティーンエイジ世代にクラミジア症などの性感染症が蔓延しつつある。性徳の低下に伴い、無防備なsexが多く、10代での人口妊娠中絶も増加の一途を辿っている。

エイズについても、最近では若年患者の増加が問題視されている。特に女性患者は従来、少数であったが2003年では15-19歳では70%が女性、20-24歳では55%が女性患者である。このままで経緯すると、10代後半にエイズに感染し、約10年の無症状の期間を経て、20代後半に発病するケースが多くなると思われる。

4. エイズの予防には

エイズに感染しないためには童貞と処女が結婚して生涯貞操を守ることであり、これによってエイズのない社会を作ることが出来る。しかし、現状はこれには、ほど遠い。昔の様に純潔教育への回帰も叫ばれており、中央教育審議会では高校生以下の性交を認めない方針を打ち出しているが、現実問題として不可能である。

昭和33年の売春防止法の実施以来、わが国にはセックス産業は法的には存在しないことになっており、昔の様に性病検査をして陰性でないと言えない様なシステムが無い。従って、エイズの温床となっているハイリスクグループの人たちを検査できない現状では、対策の打ちようがない。したがって、エイズの予防はコンドームしかないことになる。しかし、高校生のコンドームの使用状況を見ると、毎回使用しているのは4割に過ぎない。さらに性交回数が多いものほどコンドームをつけない傾向がある。広く全国レベルで急速に拡大するエイズに対しては行政主導の施策が不可欠であるが、実際にはほとんど機能していない。これ以上エイズの患者が増えるのを阻止するためには、若者の利用しやすいスクリーニング検査、PTAも参加した予防教育の推進、正しいコンドームの使用法を教えるなど予防行動キャンペーンを展開して、若者の健康管理を急がなければならない。

